

海外安全対策情報（2015年7月～9月）

1. 社会・治安情勢

8月31日、総領事館前において、和歌山県太地町のイルカ漁等に抗議するデモが行われたが、来館者とのトラブル等はなく平穩に終了した。

9月18日には、デュッセルドルフ市中心部で、極右勢力が主導する反イスラムデモ「Duegida」と、これに反対する対抗デモが行われ、一部の参加者が警察部隊と衝突して逮捕者が出たものの、大規模な混乱はなかった。

2. 一般・凶悪犯罪の傾向

一般犯罪について、空港、駅構内、ホテル、レストラン等で邦人被害にかかる置き引きやスリが多発しており、引き続き十分な注意が必要である。

その他の凶悪犯罪について、デュッセルドルフ市内を中心に路上強盗が発生しており、夜間や人気の無い場所では単独行動を避けるなど自己防衛対策の徹底が求められる。

3. テロ・爆弾事件発生状況

認知していない。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害にかかる事件は認知していない。

5. 日本企業の安全に係る諸問題

注意を要する具体的な情報はみられない。